

## 「令和5年度優秀教職員表彰」について

### 1. 内容

教職員の一層の職務意欲を高め組織の活性化を図るとともに、元気で独創的な学校と教育を創造するため、枚方市内の公立学校において模範となる実践活動や優れた提言、提案を行った教職員・チームのうち、特に有益な調査研究、発明発見、工夫考察等をしたもの（様々な教育課題に対する効果的な実践活動及び優れた提言、提案であり、かつ、枚方市内の公立学校の模範となるような業績をあげた教職員・チーム）を表彰する。

### 2. 対象

枚方市立小中学校の教職員及びチーム

### 3. 選考について

#### □ 選考基準

次のいずれかに該当し、枚方市内の公立学校において模範となる顕著な業績をあげていること。

- (1) 児童・生徒の教科指導や生徒指導等（生徒指導、進路指導、栄養指導など）において、指導方法の工夫や意欲的な取組みにより優れた成果をあげていること。
- (2) 学校運営改善や地域との連携・協働、学校事務改善等において、学校の活性化に向けての創意工夫や貢献などが特に優れ、顕著な成果をあげていること。
- (3) 教材開発や指導方法の工夫、学校運営改善等において、特に優れた研究・提案等を行っていること。
- (4) その他、前各号と同等の実践又は貢献をし、他の模範として推奨に価するもの。

### 4. その他

- ・表彰件数：特に枠を設定しない。
- ・スケジュール（予定）：令和6年1～2月＝審査及び決定  
同年2月下旬～3月上旬＝表彰

令和5年度 優秀職員表彰 候補者（個人・学校・チーム）リスト

学校名	表彰区分	氏名	功績	推薦者（課）
五常小	個人	校長 榎 正文	<b>学校の教育力向上（不登校支援・生徒指導・業務改善の推進）</b> 令和3年度より枚方市初の任期付校長（民間人校長）として「楽しい学校」づくりを目標に掲げ、市の課題に対し3年間を通し多くの挑戦をした。例えば、民間事業者との協働で「子どもたちの新しい居場所」づくりの取組を進め、「令和5年度『こころの再生』府民運動@スクール表彰」を大阪府教育庁より受賞することとなった。また、「笑顔の学校プロジェクト」の参加校として校内の働き方改革にも積極的に取り組んだ。	教職員課長
長尾中	個人	首席 高木 智記	<b>学校の教育力向上（英語科スピーチコンテストの開催・生成AIパイロット校としての実践）</b> 枚方市で初のスピーチコンテストを企画・運営するとともに、大阪府スピーチコンテストでも主要な役割を果たした。また、生成AIパイロット校の担当者として生徒が主体的にAI技術と向き合う取組の中心的役割を果たした。	学校長
渚西中	個人	首席 川久保 達弘	<b>学校の教育力向上（ICTを活用した授業力学力の向上）</b> 前任校で文部科学省より「学習者用デジタル教科書実証研究事業」の指定を受けた際、主にICTを活用した授業改善の実践に取組み、その実践をもとに現任校においてこれからの予想困難な時代を生き抜く子どもたちに必要な資質・能力の向上を図った。また、その取組みを他市・他県にも発信した。	学校長
五常小	個人	教諭 宮崎 貴耶	<b>学校の教育力向上（道徳教育の推進）</b> 「哲学対話」を取り入れた道徳科等の授業実践について広く市内外から注目され、日本道徳教育学会（全国・新潟）で発表、及びラウンドテーブルの発表者として登壇するなど研修講師、指導・助言者等を務めた。	学校長
小倉小	個人	教諭 沖 亜希子	<b>学校の教育力向上（府の「確かな学びをはぐくむ学校づくり推進校」担当者）</b> 5月に行った研究授業では、自己決定できる子ども主体の学びを実践し、その授業の様子は枚方市YouTubeチャンネルで公開された。その動画の再生回数は1000回を超えるなど、多くの学校の校内研修で視聴され、市教育委員会がめざす授業像のイメージを普及させた。	教育指導課長 教育研修課長
津田小	学校		<b>学校の教育力向上（支援教育・通級指導教室の活用）</b> 学校として校内支援体制を確立し、支援教育コーディネーター（奥野睦美教諭）や通級指導教室担当者（中田良子教諭）が中心となり、全校的な支援体制を確立した。また、校内研究のテーマを支援教育とし、全校的に支援教育に取り組んだ。	児童生徒支援課長
川越小	学校		<b>学校の教育力向上（専門家及び外部機関等と連携した不登校支援）</b> 生徒指導主担者を中心とした専門家及び外部機関等との積極的な連携によって、児童及び保護者へのチーム支援を効果的に行った。	児童生徒支援課長